

## 第7回 みやまえ活性部会 摘録

～スモールビジネスで地域貢献～

**日 時**：平成 29 年 4 月 28 日（金）18:00～20:00

**場 所**：区役所第 1 会議室

**出席委員**：佐藤部会長、川田委員長、影山副委員長、荒川委員、老門（泰）委員、黒澤委員、田辺委員、山田委員、山部委員（9名）

**欠席委員**：大木委員（1名）

**資 料**：次第

資料1 委員名簿

資料2 第6期審議スケジュール案

その他 第6回地域活性部会摘録案

区民会議フォーラム分科会参加者の記録

分科会意見交換の記録

第2期分科会の参加依頼状（案）

戸塚の子育て情報サイト こまちぷらす（参考資料）

中間報告書

### ■資料確認

### ■前回まで討議経過の確認

### ■第2回分科会のお誘いに関する資料案の確認

### ■事例紹介：

#### ①戸塚の子育て情報サイトこまちぷらす haco+

コミュニティカフェ内のレンタル棚ショップ形式の例（事務局）

#### ②宮前まち倶楽部 イベントカレンダー

### 1. 議事

(1) 区民会議フォーラムのふりかえり（公開）…配布資料に基づいて

(2) 今後の審議について（公開）…次ページ以降参照

(3) 部会名について（公開）

「みやまえ活性部会 ～スモールビジネスで地域貢献～」

に決定した。

### 2. 事務連絡（公開）

今後の日程等の確認など

## 第7回 みやまえ活性部会 審議結果要点メモ

※各意見の詳細等は次ページ以降参照

### 「第2回 地域でお友達・お仕事さがし ～スモールビジネスで地域貢献～」

5月27日 13:00～15:00 区役所会議室

#### 冒頭（15～20分程度）

- ・ 第1回のふり返り、意見への回答：公共施設へのチラシ配架等
- ・ 区民会議の想いのプレゼン「地域貢献につなげる」「つながりづくり」

#### グループディスカッション（90分程度）

##### ■設定

- ・ 1グループ6～8人程度 × 最大5グループ
- ・ 区民会議委員および事務局が進行・記録役

##### ■進行・流れ

- ・ グループ内自己紹介
- ・ テーマ1：お友達探しお仕事探しの理想の場とは？  
普段の活動を通じた悩み・要望・意見など？  
得たいもの？得られるもの？地域貢献や交流に繋げる方法？
- ・ テーマ2：具体的な取組の方向性（例えば…以下の案をたたき台に）  
例1：クラフト市（仮）の開催（11月子育てフェスに合わせて）  
名称、ターゲット、企画内容など  
例2：SHOP IN SHOP（戸塚の例などを基に）  
商店街や店舗との連携、値段や場の設定、参加意向など  
例3：会の定例化（第3回以降の設定）  
どのような場にしたいか？ 名称、運営方法など

#### 全体会（15～20分程度）

- ・ グループディスカッションでの意見紹介
- ・ 全体意見交換

※盛り上がった場合、参加者の都合が合えば時間延長も可能

※子連れ参加もOKの場とする。必要に応じてスタッフみなで支援する

※前回参加者にまず案内、出欠連絡、口コミで参加者紹介をお願いする。

※宮前まち倶楽部のイベントカレンダー、宮前ぽーたろうに情報を掲載する。

※当日の委員集合は12:30（昼食を済ませて）

## ■「第2回 地域でお友達・お仕事さがし」の設定について

- ・ 話合いのテーマを案内状に明記したい。漠然としたフリーディスカッションでは同じような場が繰り返されてしまう。複数テーマを提示しても良い。(田辺)
- ・ 時間配分設計、何をどこまでやるのか、イメージをしっかりと持つ。(事務局・コンサル)
- ・ 考え方がある程度一致しないと、取組として進まない。何かたたき台を提示し、最終的には参加者自身が決めることが重要。(田辺)
- ・ 前回は出会いと交流の場だったが、今回は一歩進めた意見交換の場。区民会議と参加者がそれぞれ望む場、目指す場を刷り合わせる場になるか。(コンサル)
- ・ 出席いただいた方に普段の悩み解決の糸口が見えたり、「やってみよう」と思ってもらえるような場にしたい。

## ■区民会議の考えとして伝えたいこと

- ・ 地域貢献につながる「スモールビジネス」のコンセプトを打ち出す。ただの作品販売でなく、「販売を通して何をしたいか」伺ってはどうか。(田辺)
- ・ 無償のボランティアによる地域活性化には限界がある。今回そこに踏み込みましたと言うメッセージがいのではないか。(影山)
- ・ 内輪でなく、地域貢献につなげることが重要。
- ・ ただの商売ではなく、人と繋がって欲しいというメッセージ。物品販売やサービス提供を通して、人間関係をつくっていくということ。区内商店街が駄目になった原因もここで、商店街のお祭り、交流が無くなってしまった。(田辺)
- ・ 参加の間口の広いイメージを伝えたい。(山部、事務局)
- ・ コミュニティカフェや、それぞれの地域での活動はそのままで良い。(田辺・川田)
- ・ 「自分に何ができるか」「何が嬉しいか」。嬉しさの広がり、地域活性化にどうつなげるか。個々の嬉しさは違って、全体の方向性でまとめていく形もある。(事務局)
- ・ 何か付加価値をつける。物が売れない時代だが、付加価値があれば高い金額も払う人がいる。野菜売り場で、生産者の顔が見えるような取り組みが進むなど、作った人と買う人の関係づくりを深めていく方向なのではないか。地域活性にも繋がる。(田辺)
- ・ 私は立場上「地域活性化」＝「自治会・町内会の活性化」と捉える。例えば地域の少子化や高齢化の問題、買い物難民支援などの課題と結びつけて考えられないか。(黒澤)
- ・ 「宮前区に住んで良かった」と子ども達に伝えたい思いは若い世代にもある。(荒川)

## ■話し合うテーマ案①クラフト市等、販売・交流の場の設定

- ・ 「クラフト市」の考え方について、意見を伺ってみたい。(佐藤)
- ・ 若い人の感覚で名称を募っても良い。「クラフト」に偏らない名称。(佐藤)
- ・ 参加者の業種・分野が偏っている現状。クラフト以外も入ってくる様な、理想像を提示すれば、目指すものや現在地がより意識できるのではないか。(事務局)

- ・ 10月の「子育てフェス」に合わせたクラフト市開催案。若い力で地域を活性化。(川田)
- ・ 子育てフェスは乳幼児の親が中心になる。もう少し大きい子どもを持つ方々、なかなか地域に入って来ない現役世代を呼び込む企画について話し合ってみる。(老門)
- ・ 名古屋ドームで開催された「ハッピーママフェスタ」には10万人が来場したそう。川崎での開催計画もあると聞いた。何か考えたい。(影山)
- ・ 区民祭りは公称4万人の集客がある。今年は市長選の影響で11月開催の見込み。北部市場で開催していた頃は更に人出があった。(田辺、事務局)
- ・ いろいろな考え方、スタンスの方をどうまとめ、何ができるのか。何かイベントや場として、一つまず形にできないか。(川田)
- ・ まず、みなさんの想いを更に聞く。そして「何か一つイベントをやろうよ」という呼びかけ、考えてみてはどうか。(川田)

#### ■話し合うテーマ案②SHOP IN SHOP

- ・ SHOP IN SHOPができると、商店街の元気にも繋がるのではないか。(川田)
- ・ 商店街や商店と組んだ何かができないか。今のままの活動で良いという意見もあるが、もし不満や課題があるのであれば、それを伺って一緒に考えてみる。(影山)
- ・ 例えば、どのくらいのスペースでいくらだったら出すのか？どういった場がいいのか、出す理由／出さない理由など聞いてみる。戸塚の例は2か月で6千円。

#### ■話し合うテーマ案③会議の定例化

- ・ 第3回、第4回をやりたいか。やるのであれば、どういう場にしたいか。会の名前や運営のしくみを考えてもよい。(コンサル)
- ・ 様々な得意分野が活かせる場をつくるために、どうやってつながっていくのか。いろいろな想いが入った場の開催につなげたい。(川田)
- ・ 個々に活動している方たちが出会う場を提供することで、つながりが生まれる。そこに意義がある。我々の任期が終わっても、場が続いていくのが理想だ。(佐藤)
- ・ 第3回の年内開催も可能だと思う。最終的なゴールをどう設定するか(田辺)
- ・ 農の人や、インターネットの技術をもった人など、多様な人に参加してもらえれば、人をつなぐことで互いの技術を活かして解決できることもあるだろう。(佐藤)
- ・ 異世代と交流し、互いを知る場としても意識したい。実際に一緒に活動や交流をして、初めてわかることが多い。今の若い方は「子育て中も飲みに行きたい。それが許される世の中であって欲しい」と考えている。私の世代には考えられなかった。私の印象と違って、インスタント食品に後ろめたさを感じているお母さんもいた。(荒川)

#### ■取組の場、地域について

- ・ 「ゆ〜ずツクルブ」の若い人達は、いろいろなイベントに参加しているが、身近な地

域で活性化したいという思いがあるようだ。（川田）

- ・ 地域の中から拡がりが出てくるのは理想だが、最初から小地域レベルで考えるとなかなかまとまらないのではないか。（老門・事務局）
- ・ 小地域レベルでは集客が難しいと考えられる。またイベントは運営が大変。既存のイベントでも出店希望者は多いが、運営の担い手が少なく困っている例がある。（田辺）
- ・ 地域レベルで小規模でやれば、運営の仕事量も抑えられるのではないか。（川田）
- ・ イベントの規模について、参加者に聞いてみてはどうか？（佐藤）

### ■ その他の案や意見

- ・ 区民会議として、区の事業として何か形にできないか。（川田）
- ・ 過去の区民会議の提案は事業化や協働に必ずしもこだわっていない。地域の課題解決がゴールであり、行政の色がつかない方がうまくいくこともある。（田辺、事務局）
- ・ 表彰や顕彰のしくみなど、インセンティブのしくみを考えてはどうか。頑張っている人に信用や自信を与えてあげられればと感じている。（影山）
- ・ 表彰はモチベーションにはなるかと思うが、表彰する側に一定の権威が求められる。運営は非常に難しい。（事務局・佐藤・田辺）
- ・ 任期内に結果まででなくても、方向性が示せればよいのではないか。（黒澤）

### ■ 前回からの意見への回答

- ・ 価格入りチラシの公共施設での配架については、そもそも行政が直接絡んでいないイベントのチラシは公共施設には置けない決まり。（事務局）

### ■ 参加者声掛けについて

- ・ まだ方向性が固まっていない中、むやみに参加を拡大しない方が良い。
- ・ もっといろいろな人を呼んで、いろいろな意見を聞きたい。（田辺）
- ・ 興味をもって参加して下さる方には声をかける。（山田）
- ・ 設定されたテーマに意見のある人が出てくれば良い。特に限定しない。（老門）
- ・ 発言の時間が沢山とれるよう、前回参加者及びそのお友達が良いのではないか。（山部）
- ・ 第1回は口コミの参加が多かった。口コミが一番。（荒川）

### ■ ディスカッションの設定

- ・ 6～8人程度のディスカッションが理想。最大5グループ程度を参加人数に応じてつくる。自己紹介もグループ内でやればあまり時間はかからない。（田辺、事務局）
- ・ 終了予定は15時とするが、盛り上がれば、時間の延長を行う。会場も可能。（田辺、事務局）